

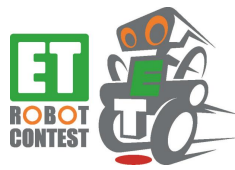
ETロボコン2014 アーキテクト部門 企画審査規約

ETロボコン2014
本部審査委員会

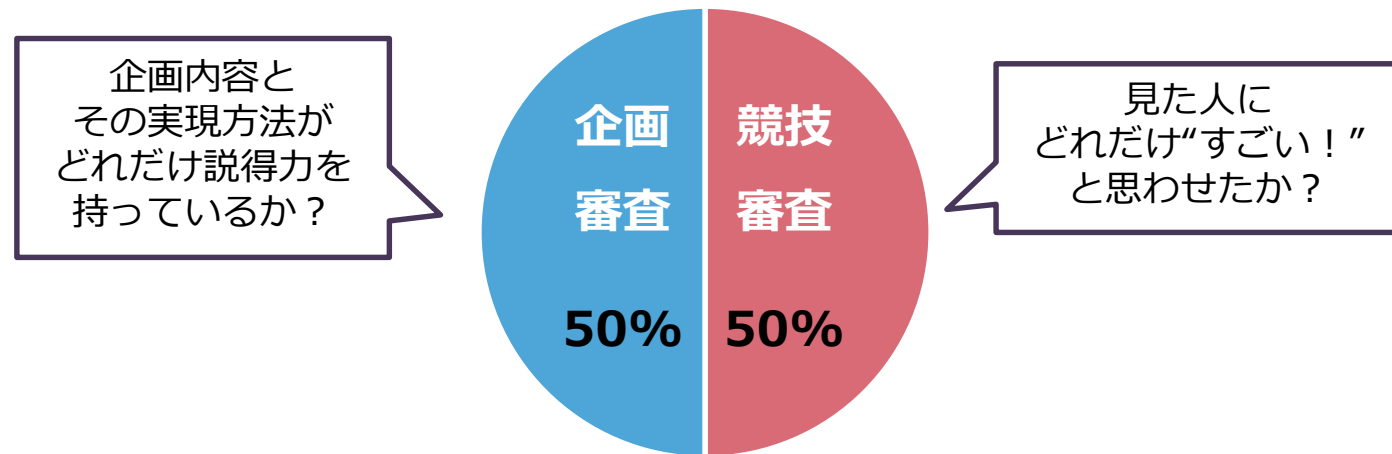


1. アーキテクト部門の審査について
2. 審査方針
3. 審査内容
4. 企画書の形式

1. アーキテクト部門の審査について



- アーキテクト部門では、「企画」と「競技」の2つについて審査を行います
 - 企画審査
 - 事前に提出された企画書に対して、モデル審査委員が評価を行います
 - 競技審査
 - 当日の競技内容に対して、一般審査委員と特別審査委員が評価を行います
 - それぞれの審査の比率は、50%ずつになります（全体で100%）

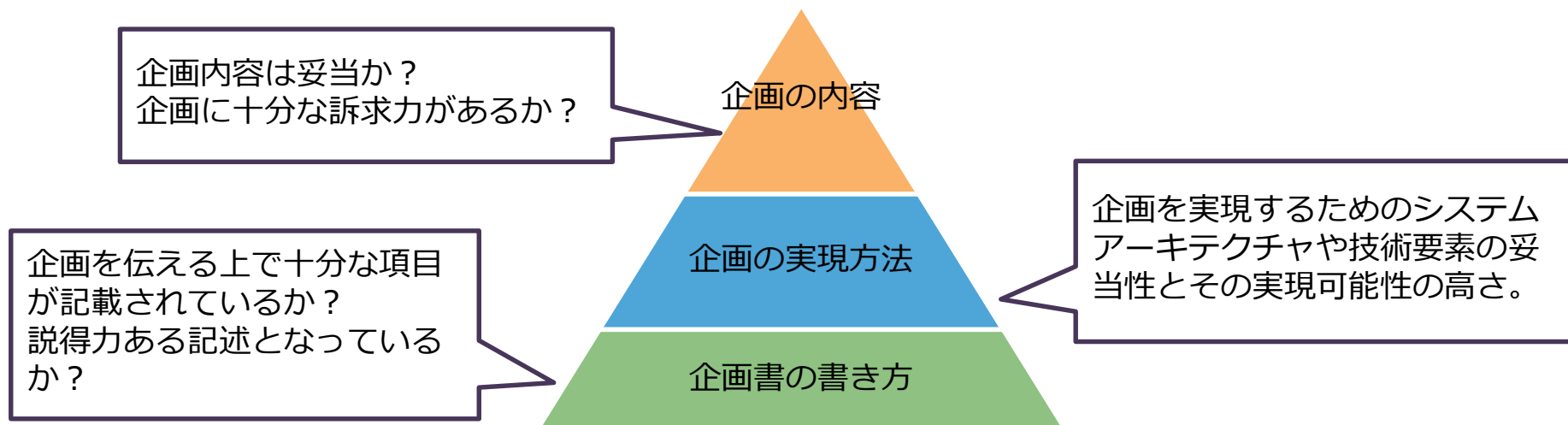


- 本審査規約では、「企画審査」に対する規約を記載しています

2. 審査方針



- アーキテクト部門の目的である「製品・サービスを企画・開発するスキル」を競うために、製品企画の良さと、それを実現するための技術を評価します
 - 審査項目は「企画の内容」「企画の実現方法」「企画書の書き方」の3つのカテゴリで構成されます
 - 2013年アーキテクト部門の「企画内容とパフォーマンスの一致性評価」は除外します
 - 2013年の実績から、企画内容とパフォーマンスは、概ね一致していることを前提とし、それを独立に評価することはありません



3. 審査内容



カテゴリ	内容	項目	審査基準
企画の内容	企画自体の訴求力	妥当性	背景や目的がテーマにきちんとつながっているか？ コンセプトは設定されたテーマに合致しているか？
		訴求力	企画内容自体に十分な訴求力があるか？
企画の実現方法	実現方法の良さ 実現可能性の高さ	アーキテクチャ	企画を実現するためのシステムやソフトウェアの良さおよび実現可能性の高さ
		技術要素	企画を実現するために使われている各種技術の妥当性および実現可能性の高さ
企画書の書き方	企画書の構成力 および記述力	構成力	企画の背景や目的が明確になっているか？ テーマが設定されているか？ 企画のコンセプト（どんなガジェットを使って、どのようなパフォーマンスを行うのか）が記載されているか？
		説得力	企画内容に対する作り手の意図・思い・根拠が伝わってくるか？ また、読み手に伝わりやすいような設定やシナリオが提示されているか？

4. 企画書の構成



■ 様式自由、分量自由

- 企画書では、内容およびそれを端的に伝える記述方法の両方が重要になります
 - 量が多かったり詳細であったりすることよりも、審査項目に該当する記述が容易に把握できるよう、簡潔にまとめてください
- 大会会場での掲示はA3横5枚に限定されます
 - 企画書もしくはコンセプトシート内に、掲示するページと順序について記述してください

ETロボコン2014 アーキテクト部門 企画審査規約

